

1月31日：コロナウイルス蔓延の中でVN指数はさらに下落

VN指数は22.96ポイント（2.39%安）の936.62ポイントで取引を終えた。昨年2月11日以来の安値に到達した。

281銘柄が下落し73銘柄が上昇した。テト休暇明けの2日目の取引日だったが、大幅な下落となった。

相対取引では3.97兆ドンが取り引きされた。

VN30指数も3.1%安となり、25銘柄が下落し3銘柄のみが上昇した。

ベトジェット航空（VJC）は7%安、ビナミルク（VNM）が6.9%安でそれに続いた。バオベトホールディングス（BVH）も6.8%安となった。

テクコムバンク（TCB）は5.7%安の2日続落だった。

多くの国営銀行も下落。ベトナム投資開発銀行（BID）は2.3%安、軍隊商業銀行（MBB）は2.1%安、ベトコムバンク（VBC）も0.2%安となった。BIDとVCBは好決算から先月大きく上昇していた。

またペトロベトナム化学肥料（DPM）、ジェマデプト（GMD）などは6.8%安の大幅な下落となった。

あるアナリストによると、VN指数はその他の主要アジア指数と同様の動きになっており、コロナウイルスによる悪影響が出ているとのことだった。

一方、上昇したのはコテコンズ建設（CTD）、ベティンバンク（CTG）、ビンホームズ（VHM）などであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。